

REUTERS

ロイター銘柄レポート

オリジナル業種: 電話・通信
 2017年8月10日作成

ソフトバンクグループ (9984)

【特色】日米で携帯事業、ネットへ展開。傘下にヤフー。持分に中国アリババ。IoT企業への脱皮図る

先週終値 **8,752円** 年初来 +12.71% コンセンサスレーティング **★★★★☆ (4.2)**
 TOPIX 1617.25 (+6.50%)

今週更新されたデータ: 業績推移(P1)、四半期の業績(P1)、四季報速報(P4)



業績推移(連結)

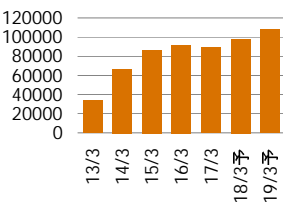
NEW 2017年8月10日

前回に比べ上方・下方修正された項目がハイライトされています。グラフの予想は東洋経済のデータを元に作成

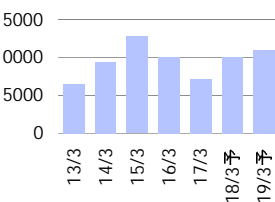
単位=百万円

	発表日	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	EPS(円)	1株配(円)	PER(倍)
17/03	5/10/2017	8,901,004	1,025,999	712,526	1,426,308	1295.9	44	6.1
18/03								
会社予想(前回)	8/7/2017	---	---	---	---	---	44	---
	5/10/2017	---	---	---	---	---	44	---
東洋経済	5/29/2017	9,800,000	1,160,000	1,000,000	600,000	545.1	44	16.1
コンセンサス(前回)	8/10/2017	↑ 9,125,580	↓ 1,126,315	↑ 1,026,252	↑ 670,495	↓ 585.33	44.32	14.4
	7/27/2017	9,121,531	1,192,471	999,890	638,974	599.64	44.32	16.2
19/03								
東洋経済	5/29/2017	10,800,000	1,260,000	1,100,000	660,000	599.6	44	14.6
コンセンサス	8/10/2017	9,312,434	1,276,215	1,187,594	767,860	717.53	45.26	12.5

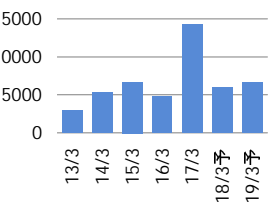
売上高(億円)



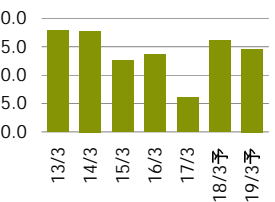
経常利益(億円)



当期利益(億円)



PER



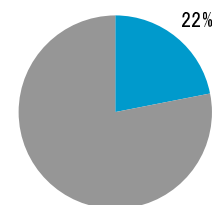
四半期の業績

NEW 2017年8月7日

単位=百万円

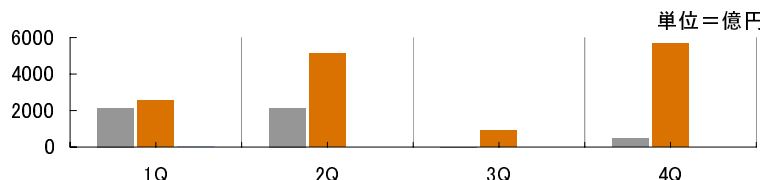
四半期	発表日	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
17/03 4Q	5/10/2017	2,319,538	76,339	-262,731	568,877
18/03 1Q	8/7/2017	2,186,059	479,273	77,568	5,521
	(前四半期比)	-5.8%	527.8%	黒字転換	-99.0%

今期会社計画に対する売上高達成率



四半期の当期利益

■ 16年03月期
 ■ 17年03月期
 ■ 18年03月期



REUTERS

ロイター銘柄レポート

オリジナル業種: 電話・通信
2017年8月10日作成

ソフトバンクグループ (9984)

コンセンサスレーティング ★★★★★ (4.2)

【特色】日米で携帯事業、ネットへ展開。傘下にヤフー。持分に中国アリババ。IoT企業への脱皮図る

スーパー業績診断

2017年8月10日

成長性の分析 売上高の伸びはおおむね順調でしたが、やや不安定な年度もあります。今期の売上高の伸びは他社平均よりもやや高くなるのが期待されます。将来の売上高の伸びは現在よりもかなり高くなるのが期待できません。

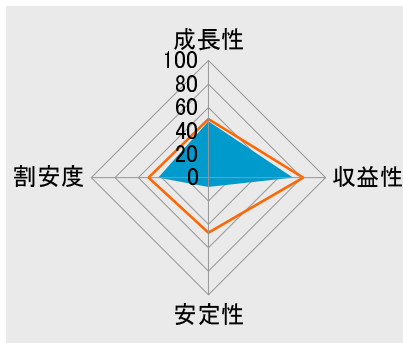
収益性の分析 過去の収益率は一定の水準を保ち非常に安定しています。今期の収益率は他社と比べても非常に高いものと推察されます。今後の収益性は現在と大きな変更は予想されません。

比較分析

2017年8月10日

上場全3660社対比

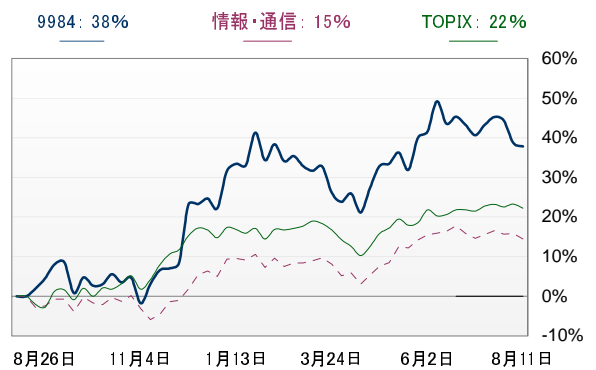
成長性 = 48点
(同業種平均 = 50点)
収益性 = 72点
(同業種平均 = 81点)
安定性 = 8点
(同業種平均 = 47点)
割安度 = 43点
(同業種平均 = 51点)
得点(1~100点) = 43点



※上記のグラフはページ3の点線枠内のデータを元に作成されています

52週間TOPIX・業種相対比較

2017年8月10日

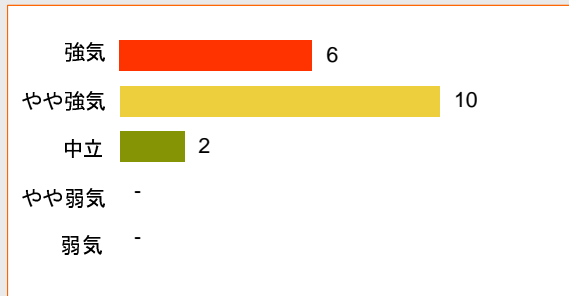


ロイター コンセンサス レーティング

2017年8月10日

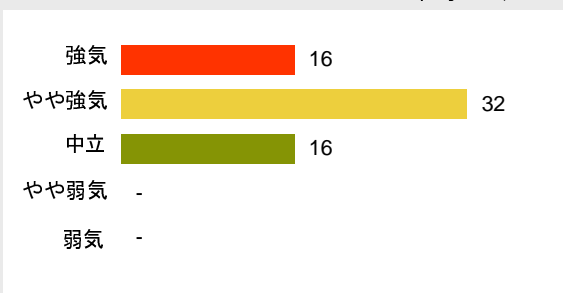
ソフトバンクグループ (9984)

コンセンサスは横ばい。 平均スコア: 4.2

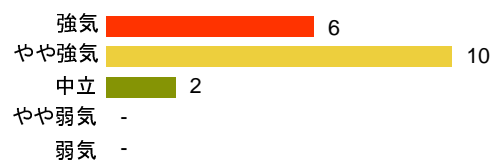


オリジナル業種分類 電話・通信業全体 (7社)

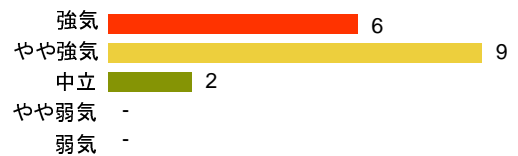
コンセンサスは横ばい。 平均スコア: 4.0



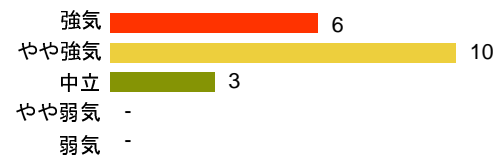
1週間前 平均スコア: 4.2



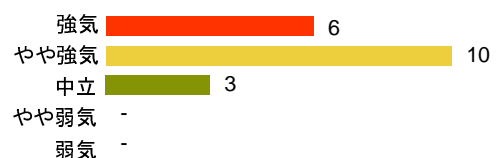
1ヶ月前 平均スコア: 4.2



3ヶ月前 平均スコア:



6ヶ月前 平均スコア:



REUTERS

ロイター銘柄レポート

2017年8月10日作成
オリジナル業種: 電話・通信

ソフトバンクグループ (9984)

コンセンサスレーティング ★★★★★ (4.2)

【特色】日米で携帯事業、ネットへ展開。傘下にヤフー。持分に中国アリババ。IoT企業への脱皮図る

同業種比較

各指標のランクは電話・通信業全7社との比較によるものです。またページ内の5社と比較して最も数値が高い項目はフォントが赤く表示されます。

		ソフトBG(9984)	NTT(9432)	ドコモ(9437)	KDDI(9433)	沖縄セルラ(9436)	同業種平均	
上場全銘柄比較	総合点							
	成長性 得点	48点 (▼1)	41点 (▼1)	38点 (△0)	46点 (△0)	32点 (△0)	50点 (△0)	
	収益性 得点	72点 (△0)	71点 (△0)	86点 (△0)	90点 (△0)	86点 (△0)	81点 (△0)	
	安定性 得点	8点 (△0)	32点 (△0)	73点 (△0)	52点 (△0)	94点 (△0)	47点 (△0)	
	割安度 得点	43点 (△0)	67点 (△0)	53点 (△0)	58点 (△1)	62点 (▼1)	51点 (△0)	
株価	先週終値	8,752円	5,383円	2,561.5円	2,931.5円	3,860円	3,478円	
	年初来	12.71%	9.59%	-3.81%	-0.95%	10.76%	2.08%	
	コンセンサス・レーティング	★★★★☆(4.2)	★★★★☆(4.0)	★★★★☆(3.8)	★★★★☆(3.9)	★★★★☆(4.0)	★★★★☆(4.0)	
同業種比較	売上高(予) (百万円)	9,800,000 (2位)	11,750,000 (1位)	4,750,000 (4位)	4,950,000 (3位)	63,100 (5位)	4,481,586	
	営業利益(予) (百万円)	1,160,000 (2位)	1,590,000 (1位)	960,000 (3位)	950,000 (4位)	12,000 (5位)	667,914	
	経常利益(予) (百万円)	1,000,000 (2位)	1,580,000 (1位)	966,000 (3位)	925,000 (4位)	12,000 (5位)	640,914	
	当期利益(予) (百万円)	600,000 (3位)	830,000 (1位)	655,000 (2位)	565,000 (4位)	8,200 (5位)	380,071	
	配当利回り率(予)	0.50% (6位)	2.79% (4位)	3.90% (1位)	3.07% (2位)	2.85% (3位)	2.27%	
	時価総額 (百万円)	9,632,976 (3位)	11,284,888 (1位)	9,988,730 (2位)	7,584,417 (4位)	105,540 (5位)	5,519,812	
	成長性	売上高成長率(予)	10.1% 2位	3.2% 6位	3.6% 4位	4.2% 3位	0.1% 7位	5.5%
		営業利益成長率(予)	13.1% 2位	3.3% 5位	1.6% 7位	4.1% 4位	2.5% 6位	5.4%
		EPS成長率(予)	-57.9% 7位	3.7% 4位	0.4% 6位	4.7% 3位	2.5% 5位	-22.5%
	収益性	営業利益率(予)	11.8% 5位	13.5% 4位	20.2% 1位	19.2% 2位	19.0% 3位	8.5%
		ROE(予)	16.7% 3位	9.2% 7位	11.8% 6位	15.9% 4位	11.9% 5位	12.2%
		ROA(予)	4.7% 7位	7.5% 6位	12.9% 3位	15.2% 1位	14.3% 2位	4.5%
	安定性	流動比率(実)	109.5% 7位	128.6% 5位	222.4% 2位	181.8% 3位	418.8% 1位	190.9%
		自己資本比率	14.6% 7位	42.6% 4位	74.2% 2位	56.7% 3位	82.0% 1位	48.9%
		有子負債比率	414.0% 7位	45.0% 5位	4.0% 2位	27.0% 4位	0.0% 1位	84.6%
割安度	PER(予)	16.1 6位	13.6 4位	15.3 5位	13.4 3位	12.9 2位	14.5	
	PBR(予)	2.7 6位	1.3 1位	1.8 3位	2.1 4位	1.5 2位	1.8	
	EV/EBITDA(予)	8.5 6位	4.7 2位	6.8 5位	5.6 3位	5.8 4位	8.6	
		ソフトBG(9984)	NTT(9432)	ドコモ(9437)	KDDI(9433)	沖縄セルラ(9436)	同業種平均	

REUTERS

ロイター銘柄レポート

2017年8月10日作
オリジナル業種: 電話・通信

ソフトバンクグループ (9984)

コンセンサス
レーティング ★★★★★ (4.2)

【特色】日米で携帯事業、ネットへ展開。傘下にヤフー。持分に中国アリババ。IoT企業への脱皮図る

四季報速報

NEW 2017年8月8日更新

最終利益は9.8%減益の5.5億円だった。これは昨年、中国EC大手・アリババ株を資金化する際に用いたデリバティブ損失(177.8億円)が影響したものだ。

ソフトバンクはアリババ株売却の実現前に現金を得る目的でデリバティブを用いたが、その後に株価が上がれば「本来得られたはずの利益が得られなかった」として評価損を計上する。今回は過去3カ月間でアリババ株の株価が上がったために評価損を計上した。

このデリバティブは、契約した2016年6月1日から3年後の2019年6月に契約満了を迎える。「(満了までに)多くの評価損を立てていけば、その分だけ(満了時に)評価益が戻ってくるので問題ない」と孫社長は解説した。

■買収について、「近く決定するので話せない」

質疑応答ではスプリントと同業TモバイルUSとの統合交渉について質問が集中した。孫社長は「複数の事業統合の相手先を想定し交渉を行っている。われわれは近い将来実現すると思っているからなおさらのこと、コメントを控えていただきたい」と述べるにとどまった。

「スプリントのマルセロ・クラウレCEOはケーブル会社ではなく携帯事業者が理想といっている。Tモバイルが本命という考え方は生き続けているのか？」と食いつかれても、「意思決定する時期が近い。複数の相手を考えている。ヒントになることは残念ながらない」と語った。

また、「KDDIが月々1980円~のプランを導入し好調だ。対抗して格安プランを導入する予定はないのか」と水を向けられた。

国内通信担当の宮内謙副社長は「まったく考えていない。ワイモバイルは好調だし、ソフトバンクもどんどん伸びている」と明言。孫社長は「(KDDIの新プランは端末代金と通信料金を)分離するプランということで、実際には値下げになっていないのではないかと付け加えた。

さらに、米配車アプリ「ウーバー」への出資意思はあるかと聞かれると、「正直悩んでいる。(同業の)リフトもいいと思っているので、リフトとも話をしたいと思っている。いずれにせよ米国のシェアリングマーケットには非常に興味がある」と回答した。

明言こそしないものの、さまざまな可能性について語った孫社長。巨額買収、巨額出資はどうやら今後も続きそうだ。

(山田 雄一郎)

会社概要	企業概況	株主構成																				
<p>【住所】東京都港区東新橋1-9-1 【電話】03-6889-2000 【URL】http://www.softbank.jp/ 【従業員数】63,591人(連) 199人(単) 【社長】孫正義 【公開】1994年07月 【平均年収】1,164万円 【設立】1981年09月 【平均年齢】40才</p>	<p>【特色】日米で携帯事業、ネットへ展開。傘下にヤフー。持分に中国アリババ。IoT企業への脱皮図る</p> <p>【大台回復】国内通信はワイモバイルや光契約続伸。前期黒字化の米国スプリントも出足順調。営業益1兆円大台回復。中国アリババの持分益拡大。同社株ごく一部売却やゲーム世界最大のスーパーセル株全売却で7800億円強売却益計上。増配。</p> <p>【ARM社】IoT時代到来に先手、英半導体設計大手を3.3兆円で買収。株売却で2兆円、みずほ融資で1兆円資金手当て。</p>	<p>【株主】【単】222,448名<16/3> 万株(%)</p> <table border="1"> <tr><td>1) 孫正義</td><td>23,120 (19.2)</td></tr> <tr><td>2) 日本マスター信託</td><td>7,522 (6.2)</td></tr> <tr><td>3) 日本トラスティ信託口</td><td>5,861 (4.8)</td></tr> <tr><td>4) 自社(自己株口)</td><td>5,376 (4.4)</td></tr> <tr><td>5) JPモルガン・チェース・バンク</td><td>4,676 (3.8)</td></tr> <tr><td>6) バンク・オブ・ニューヨーク・</td><td>1,623 (1.3)</td></tr> <tr><td>7) ステートストリートBウエス</td><td>1,431 (1.1)</td></tr> <tr><td>8) ステート・ストリート・バンク</td><td>1,365 (1.1)</td></tr> <tr><td>9) 日本T信託口7</td><td>1,192 (0.9)</td></tr> <tr><td>10) 資産管理S投信</td><td>1,157 (0.9)</td></tr> </table> <p><外国> 38.8% <浮動株> 7.4% <投信> 9.2% <特定株> 45.3%</p>	1) 孫正義	23,120 (19.2)	2) 日本マスター信託	7,522 (6.2)	3) 日本トラスティ信託口	5,861 (4.8)	4) 自社(自己株口)	5,376 (4.4)	5) JPモルガン・チェース・バンク	4,676 (3.8)	6) バンク・オブ・ニューヨーク・	1,623 (1.3)	7) ステートストリートBウエス	1,431 (1.1)	8) ステート・ストリート・バンク	1,365 (1.1)	9) 日本T信託口7	1,192 (0.9)	10) 資産管理S投信	1,157 (0.9)
1) 孫正義	23,120 (19.2)																					
2) 日本マスター信託	7,522 (6.2)																					
3) 日本トラスティ信託口	5,861 (4.8)																					
4) 自社(自己株口)	5,376 (4.4)																					
5) JPモルガン・チェース・バンク	4,676 (3.8)																					
6) バンク・オブ・ニューヨーク・	1,623 (1.3)																					
7) ステートストリートBウエス	1,431 (1.1)																					
8) ステート・ストリート・バンク	1,365 (1.1)																					
9) 日本T信託口7	1,192 (0.9)																					
10) 資産管理S投信	1,157 (0.9)																					
<p>連結事業のセグメント別売上比率 (2017/3)</p> <table border="1"> <tr><td>国内通信</td><td>35%</td></tr> <tr><td>スプリント</td><td>39%</td></tr> <tr><td>ヤフー</td><td>9%</td></tr> <tr><td>流通</td><td>14%</td></tr> <tr><td>ARM</td><td>0%</td></tr> <tr><td>他</td><td>0%</td></tr> </table>	国内通信	35%	スプリント	39%	ヤフー	9%	流通	14%	ARM	0%	他	0%										
国内通信	35%																					
スプリント	39%																					
ヤフー	9%																					
流通	14%																					
ARM	0%																					
他	0%																					

Copyright © 2016 Thomson Reuters. All rights reserved. ロイターから書面による事前承認を得ることなく、フレーミング又はこれらと同等の手段によりロイター・コンテンツをコピー、再出版、再配信又は引用することは禁止されています。ロイター(Reuters)及びロイターのロゴは、世界中のロイター・グループ各社の商標であり、かつ登録商標です。【ご注意】このレポートは、トムソン・ロイター・マーケット株式会社(以下「ロイター」)が、東洋経済新報社、THOMSON REUTERS DATASCOPE SELECTより提供されるデータによって編集したものです。このレポートは、投資活動を勧誘又は誘引するものではなく、有価証券の「買い」または「売り」のオファーとして使用されてはならず、税金、投資又はその他のいかなる助言も提供するものではありません。このレポート及びレポートの情報に依拠するべきではありません。ロイターは、各個人投資家のそれぞれの事情に適合したアドバイスを提供することを目的としておりません。このレポートの使用は、資格のある投資専門家の投資助言に取って代わるものではありません。このレポートの情報は、一般的な信頼性があるものとされる情報源から得られた情報ですが、ロイターもその情報提供者ならびにこのレポートを第三者に提供する如何なる当事者も、このレポートの正確性又は完全性について保証するものではなく、また、情報提供中のエラー・欠損又は通信の中断・遅延及びこのレポートの使用から生じる一切の結果について、なんらの表明や保証を行うものでもありません。更に、このレポートの情報は時間の経過により不正確となる場合があり、従ってヒストリカル情報としてこのレポートに記載されている「ロイター コンセンサス 業績予想」ならびに「ロイターコンセンサス レーティング」を除く業績予想は、原則として東洋経済新報社「会社四季報」編集部が提供します。「ロイター コンセンサス レーティング」とは、ロイターが発表する「証券アナリストコンセンサス予想」を星の数であらわしたものです。強気をあらわすレーティング5(★★★★★)から、弱気をあらわすレーティング1(★)の範囲で表示されます。なお、レーティング情報のない銘柄は「-」または「(0.0)」と表示されます。このレポートの見方・使い方については、次のURLを参照ください。http://pr.reuters.com/investors/faq.html レポート作成: FDG Global, Co. Ltd.